

事業実績書

事業名		食農体験プロジェクト
場所		沼津市大岡 362 他
期間		令和 2 年 4 月 1 日 ~ 令和 3 年 2 月 28 日
	日程	実施項目・作業項目
事業内容		※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など) 当初の事業計画では、実際に圃場にて土に苗を定植し、弊社スタッフ管理のもと、除草や誘引、横目かき、下葉の処理、追肥など、収穫まで栽培期間内に参加者が3回程度集まり、全員で作業をする予定だったが、コロナ感染拡大予防のため、下記の様に事業内容を変更した。 ◆ミニトマトの栽培 実施場所：沼津市大岡 373 堆肥の購入・SNSにて参加者募集及び受付・配布資料作成（スタッフ2名） ミニトマトの鉢上げ（スタッフ2名×2日間） ミニトマトの鉢植えお渡し（スタッフ2名×3日間）参加者：10組 グループLINEにて栽培指導、相談対応、成長報告、収穫期メニュー紹介 ◆クッキング講座 実施場所：食育スタジオ Dream（沼津市大岡 362） 講座内容：野菜の収穫後、クッキングスタジオにて調理 SNSにて参加者募集・予約受付・レシピ作成・材料購入、配布資料作成 講座準備、講習、片付け（栄養士1名） 開催回数：38回 参加人数：延べ107名 ◆夏野菜収穫体験 実施場所：沼津市大岡 373 野菜栽培（スタッフ2名） 収穫体験（スタッフ2名×10日） 開催回数：10回 参加人数：34名 ◆ミニチンゲン菜種まき体験 実施場所：沼津市大岡 373 SNSにて参加者募集及び受付・配布資料作成（スタッフ2名） 種蒔き体験会 準備、設営、講習、片付け（スタッフ3名×3日間） 開催回数：3回 参加人数：12組 グループLINEにて栽培指導、相談対応、成長報告、収穫期メニュー紹介 ◆冬野菜収穫体験 実施場所：沼津市大岡 373 冬野菜の種蒔き、苗の定植、栽培（スタッフ2名） 収穫体験（スタッフ2名） 開催回数：10回 参加人数：28名
	4/25	
	4/29. 30	
	5/4. 5. 6	
	~8/13	
	7/1	
	~12/12	
	4/1	
	~8/31	
	6/28	
	~8/2	
	9/25. 26.	
	27	
	~12/15	
	9/1	
	~12/12	
	11/29	
	~12/12	

事業効果	※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を、具体的な数値を用いて記載してください。 様々なイベントが中止されている中、計画を変更したものの事業を開催することができたため、参加者アンケートでは高い評価をもらうことができた。 ① 地元の食材を手にする機会が増えた→100% ② 食べられる野菜が増えた(食べなかった野菜を食べられるようになった)→100% 参加者は野菜購入時産地表示を確認するようになった、野菜栽培の大変さを知り、残さずに食べる努力をするようになった、地元で栽培されている野菜の多さを知った、など地産地消の意識が高くなったことがわかった。 また、野菜栽培により家族の会話が増えた、子供たちが野菜に興味を持ち家族で野菜図鑑を見る時間ができた、これまで野菜栽培に挑戦してもうまく育てることができなかったが、栽培中にわからないことを教えてもらうことができ、適切なアドバイスをもらえたことで、収穫の喜びを味わうことができた、コロナ禍で楽しいことが少ない中プロジェクトに参加して収穫体験やクッキング講座がとても楽しかったなど、参加者の方々から予想以上に嬉しい声をいただいた。
自己評価	※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。 コロナの影響で当初の計画通りには開催できなかったが、鉢植えやプランター栽培に変更したことで、土のない住まい(マンション等)の方も参加することができた。参加者には、予想以上に野菜栽培の大変さや収穫の喜びを感じてもらうことができた。野菜栽培を通し家族の絆が深まり、子供たちが命の育みを感じ、地元の野菜に興味を持つ機会に繋がり、食農体験としての目標をしっかりと達成できたと思う。 イベントや外出自粛が続く中、少人数での収穫&クッキング講座を開催できたため、多くの方に参加してもらうことができやりがいを感じた。 まちづくりファンドをスタートさせて4年が経過し、当初赤ちゃんだった子供たちが成長して、ご家族で継続的に事業に参加してくださっており、地域に密着した食育活動の推進に繋がっている。
今後の活動予定	※ ファンドを利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。 次年度も引き続き収穫体験とクッキング講座は継続し、新たに使用していなかった圃場での農業体験の開催を予定している。既に圃場の水路の修復工事も終了し、定植する苗を育苗している。夏野菜収穫体験のために土壌分析をし、圃場の準備や播種も進行中である。小中学校での調理実習ができない状況が続いているため「食」の自立に向け、トライアルプログラムを取り入れたクッキング講座も計画している。 農業体験として野菜の栽培と収穫と、調理体験を結びつけた企画を継続し、参加者の幅を広げていきたい。年間を通して収穫できる野菜を栽培し、スタジオレッスンで活用できるようにしていきたい。市内の子育て世代の多くの方々が、気軽に足を運び農業体験をすることができる企画や、収穫仕立ての野菜を使用したスタジオレッスンを随時企画して参加者を増やしていきたい。

◆ミニトマトの栽培



◆クッキング講座



◆夏野菜収穫体験



◆ミニチンゲン菜種まき体験



◆冬野菜収穫体験

